



### 1 開催概要

内閣府は令和5年10月25日(水)に「第7回 理工系女子応援ネットワーク会議」を開催しました。オンラインで開催し、全国から72団体・101名に出席頂きました。

### 2 理工系女性人材の育成に係る基調講演

国立大学法人 電気通信大学より「匠ガールプロジェクトの概要と今後の展望」について、基調講演をいただきました。基調講演では、年度ごとのイベントの参加者数と志願者数の関係に着目し、将来に向けた長期的な視点が必要であることや、中高生を対象にしたイベント(ラボ体験)について、詳細なイベント内容をお話しいただきました。電気通信大学では、ラボ体験以外にも、企業の研究所見学ツアーを共催したり、女子学生の母校訪問を実施したりと多岐にわたる取組を展開されています。今後の展望では、イベントの継続化・認知度向上、保護者へのアプローチ等が重要であることを説明いただき、広い視点からリコチャレ事業の重要性についてご講演いただきました。



### 3 夏のリコチャレ取組事例発表

#### (1) 事例発表①

事例発表①では、アマゾンウェブサービスジャパン合同会社(以下、「AWS」といいます。)に発表いただきました。AWSでは、リモートと現地参加でのハイブリット開催を試み、全国各地から集客可能になったというメリットや、リモート参加者には、現地参加の方以上にインタラクティブなやり取りが必要である等のノウハウを共有いただきました。また、参加者からのフィードバックや、参加者の知識に応じてコースを複数準備するなどのイベント設計時の工夫についてもご紹介いただきました。



#### (2) 事例発表②

事例発表②では、スリーエムジャパン株式会社(以下、「3M」といいます。)の取組を発表いただきました。3Mは、理工系チャレンジの活動が今年で5年目を迎えるということで、これまでの実績を踏まえ、昨年度までの活動で課題だった点や、今年度工夫されたこと等について発表いただきました。特に課題の一つであった集客を改善するための工夫として、SNS発信のみならず、メディアを活用したり、学校へ案内をしたりといった点は、イベント実施を検討している団体にとって大いに参考になりました。また、イベントの最後に1時間程度フリータイムを設けることで、イベント参加者がそれぞれの興味・関心に応じてより詳しく質問ができる等の工夫点についてもご紹介いただきました。



### 4 グループディスカッション

本会議には、夏のリコチャレや独自の取組によりイベントを実施いただいている団体、イベントの実施に興味のある団体、地方公共団体等、様々な団体に参加いただきました。グループディスカッションでは、イベントを実施した団体から工夫点やノウハウを共有いただいたほか、これからイベントを実施したいと考えている団体の疑問点を解消していただくなど、参加者の間で活発な意見交換がなされました。